

南麻布をふるさとしに 子供たちが誇れる学校  
～ 東町小学校 ～



大正2年11月14日、東町小学校は東町尋常小学校として、誕生しました。初代校長 西村新太郎先生が本校開校式で、何事をするにも『一生懸命』にと、子供たちに話されました。なすことのために『一生懸命』努力する、この建学の精神とこれまで培われてきた校風と伝統を、大切に継承していきます。

2年後の平成25年、本校は100周年を迎えます。この伝統ある東町小学校が、子供たちにとって、校歌に謳われている「楽しい学びや 我が学びや」となるよう、日々の授業・学校生活を充実させ、一人一人のよさを最大限にひきだし伸ばしていきます。

1, 学校経営の基本的な考え方

港区立東町小学校は、「やすらぎある世界都心・MINATO」の公立学校である。

日本国憲法及び教育基本法に基づき、児童の権利に関する条約等の趣旨を尊重し、「明日の港区を支える子どもたち」の育成を目指して、児童一人一人の権利が尊重される教育を推進する。

港区教育の基本姿勢

区民に信頼される学校づくり

区民と共にある学校づくり

子供たちが誇れる学校づくり

に基づいた学校経営を目指す。



本校の教育目標

- ・ 明るい子 (豊かな心、健康な体)
- ・ よく考える子 (確かな学力、豊かな心)
- ・ やりぬく子 (豊かな心、健康な体)
- ・ 思いやりのある子 (豊かな心)



本年度の重点目標 「よく考える子」

2, 教育目標を達成するための目指す学校像、児童像、教職員像、家庭・地域像

学校像

- ・ 児童も教職員も明るく生き生きと輝いている学校
- ・ 児童、教職員、家庭・地域の想いや願い、個性や特性を大切にする学校
- ・ 特色ある学校づくり、開かれた学校づくりを進め、親しまれ信頼される学校

児童像

- ・ 自分の夢や希望の実現に向けて、目標をもって学び、遊び、働く児童
- ・ 人や自然と積極的にかかわり、共に生きる児童
- ・ 自他の生命・人権を尊重し、豊かな感性と思いやりの心をもつ児童

### 教職員像

- ・ 児童の個性や可能性を最大限に伸ばす教職員
- ・ 児童、家庭・地域と共に汗し、喜びや悲しみを分かち合う教職員
- ・ 日々の授業や学校環境の充実のため、学び挑戦し続ける教職員

### 家庭・地域像

- ・ 児童と積極的にかかわり、温かく見守る家庭・地域
- ・ 児童の思いを受け止め、躰のできる家庭とそれを支える地域
- ・ 児童の人権と安全を守り、いじめや犯罪を許さない家庭・地域

## 3, 中期的目標と方策

|     | 中期目標                       | 方策  |
|-----|----------------------------|---|
| 学 校 | 校内研究を深め、一人一人のニーズにあった教育の定着化 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特別支援教育での指導方法を学び、定着させる。</li> <li>・ 毎時間の評価をもとに、個に応じた指導を積み重ねる。</li> </ul>   |
|     | 100周年に向け、伝統の継承と発展          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家庭や地域からの情報や声を謙虚に受け止め、伝統を守り育てる。</li> <li>・ 100周年に向け、校内の整備や資料の収集を進める。</li> </ul>   |
|     | 国際学級の充実                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 英語で学習する児童のための教科テキストを充実させる</li> <li>・ 実技教科でのイメージ教育を高める。</li> <li>・ 国際交流の場を設定する。</li> <li>・ 日本文化学習の充実を図る。</li> </ul>   |
|     | 児童数の増加                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 落ち着いた環境の中での学習を保障し、特色ある教育活動を充実させる。広報活動を行う。</li> </ul>   |
| 児 童 | 学力の定着と向上                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各時間、授業の充実を図る。</li> <li>・ 一人一人の課題に応じたきめ細かな指導をし、学ぶ喜びや楽しさを味わわせ、学習の基礎・基本と確実な学力を身に付けさせると同時に、各教科領域において言語活動の充実を図る。</li> <li>・ 体験学習、課題解決学習などを展開し、自ら考え正しく判断して行動できる能力を培う。</li> <li>・ 全ての学習の中で、言語活動を取り入れ、思考・判断・表現力を育む。</li> <li>・ 一人読書30冊を目指す。</li> </ul> |
|     | 豊かな心の育成                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道徳の時間の充実、道徳授業地区公開講座、カウンセリング指導体制の強化などによって、自他を尊重する心や思いやりの心を育むと同時に規範意識の向上を図る。</li> <li>・ 異学年集団活動内容（ファミリー）を充実させる。</li> <li>・ 中休み教師とのとも遊びを発展させる。</li> <li>・ 体育学習での集団運動等で、健康と体力の保持増進に努めるとともに集団生活の在り方を自覚させ、精神面の健全を強化する。</li> </ul>                    |

|       |           |   |
|-------|-----------|---|
|       |           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境教育や自然体験を継続する。</li> <li>・創立100周年に向けての学習や行事を実施する。</li> </ul>  |
|       | 体力向上      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツテスト結果を体育学習に反映させる。</li> </ul>  |
| 教職員   | 授業力の向上    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内研究で講師の指導を受ける。</li> <li>・全員年3回以上授業公開する。</li> <li>・他校の研究発表や、区・都の研修会に参加する。</li> </ul>  |
|       | 児童理解の向上   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールカウンセラーや特別支援教育コーディネーター、通級学級教諭と連携する。</li> <li>・保護者との意思疎通を深め、連携を図る。</li> <li>・特別支援教育の趣旨を踏まえ、校内委員会の運営の充実を図り、特別に支援が必要な児童への個別支援計画等を作成して個に応じた教育のニーズに応える。</li> <li>・校内生活指導研修での報告と相談を実施する。</li> <li>・区や都の研修を受講する。</li> </ul> |
| 家庭・地域 | 健全育成      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭や地域社会、関係諸機関に対して働きかけを行い、家庭や地域社会とともに児童を育てる。</li> </ul>  |
|       | 開かれた学校づくり | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人材、環境活用を進める。</li> <li>・学校評議委員の意見や家庭・地域の声を、学校経営に反映させていく。</li> <li>・創立100周年に向けて、記念行事等計画に参画する。</li> </ul>   |

#### 4、今年度の学校経営の重点と目標に向けた取組み

| 重点的な取組み  | 具体的な取組み                | 具体的な方策  |
|----------|------------------------|---|
| 学力の定着と向上 | 校内研究の充実                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育の視点を生かした研究授業を実践する。</li> <li>・各学年の講師との連携した授業を展開する。</li> <li>・研究授業年4回実施し、講師の助言と指導を受ける。</li> <li>・ノート指導を徹底する。</li> </ul>                       |
|          | 一人一人の学習進度状況把握と、支援体制の充実 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学級学力向上のための講師を配置し、担任と2人体制での指導をする。</li> <li>・毎算数時間の個々の学習状況を把握し、評価する。<br/>(ハートフルカード、学期ごとの個表を作成)</li> </ul>  |
|          | 朝の基礎基本の徹底              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の学習の進度にそった算数学習。</li> </ul>  |
|          | 読書活動の推進                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・週1回音読や読書を実施し、読むことの習慣化を図る。</li> <li>・年間30冊読書を目標にする。(おすすめ30冊)</li> <li>・年1回親子読書旬間実施する。</li> <li>・リーディングアドバイザーやボランティアによる「読みたい本のある図書室」を作る。</li> </ul> |
| 豊かな心の育成  | かかわりの場の設定              | <p>異学年集団活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模校のよさを生かし、毎月1回全校一斉での給食を実施する。</li> <li>・異学年集団「ファミリー」単位で</li> </ul>   |

|         |  |   |
|---------|--|---|
|         |                   | <p>毎月給食を実施する。共遊び、清掃。<br/>日本文化を学ぶ。<br/>年1回全校遠足(田植え) 東町フェスティバル<br/>地域との交流</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者施設訪問、PTA主催PTA行事での地域との交流、年3回の地域清掃をする。</li> <li>・幼稚園、保育園との交流活動</li> <li>・1・2年生～生活科・国際科 3・4年生～総合的な学習の時間・給食 5・6年～給食等を通して交流する。</li> <li>・教職員との交流</li> <li>・毎週木曜日の中休み、とも遊びをする。</li> <li>・毎月人権教育の日を設定し、指導する。(給食と協同)</li> </ul>  |
|         | 感性を磨く  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然体験活動を実施する。 米作り</li> <li>・伝統的な日本文化を年12回学ぶ。</li> </ul>  |
|         | いじめ・不登校<br>0を目指す。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援コーディネーター、情緒障害学級担任、スクールカウンセラー、担任との相談を密にした特別支援委員会を月1回開く。</li> <li>・特別支援コーディネーター、スクールカウンセラー、管理職、事例によっては学級担任と、週1回打ち合わせと報告を実施する。</li> <li>・全教員児童理解のために、全体協議会を毎学期開く。</li> </ul>   |
| 健康な体づくり | 食育指導の充実<br><br> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回セレクト給食を実施する。</li> <li>・1、2年生、食材の皮むき体験をする。</li> <li>・教材で育てた食材を給食に使用する。2・5年生</li> <li>・全校で田植えをし、実った米を給食の米飯にする。</li> <li>・日本の伝統的な行事や記念日を考えた給食献立を、取り入れる。</li> <li>・各国、郷土の料理を、各月献立に入れる。</li> <li>・1月に給食週間を設定する。</li> <li>・月1回、全校一斉でランチルーム給食を行う。</li> <li>・月1回 ファミリー給食を行う。</li> <li>・年2回お弁当給食を行う。</li> <li>・保護者との食育指導連携として、のべ年6回親子給食を実施する。</li> <li>・食育指導を年のべ12回行う。</li> </ul> |
|         | 体づくり   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・年1回マラソン月間を設定する。</li> <li>・年1回縄跳び大会を実施する。</li> <li>・年3回学校保健委員会を開催し、結果を全保護者に周知する。</li> <li>・PTAと共同で、課外でのサッカークラブを実施する。</li> </ul>  |

## 5、特色ある教育活動

- ・個別指導推進校として各学級講師を配置し、児童一人一人が「わかる」「できる」授業を進める。
- ・国際科の発展として、また、国際学級開設を視野に入れた実技教科での一部英語での授業を進めると共にインターナショナルスクールや近隣大学・大使館との交流を行い、国際理解教育の推進充実に努め、児童が進んで英語を活用し、人とかかわろうとする態度を培う。
- ・小規模校の特性を活かし、異学年集団活動「ファミリー」を積極的に推進し、思いやりや責任等の社会性を育てる。
- ・年12回土曜日に「日本文化科」の時間を設け、茶道・香道・和太鼓等の日本文化を学び、誇りある国際人を育成する。
- ・地域の公共施設（南麻布福祉会館）や保育園（校内設置）・幼稚園との交流、美術館との連携、旅順九三小学校との交流や地域清掃など、人とのかかわりを大切にした体験活動の場を設定する。児童の社会性や豊かな感性を育む。また、「地域で学ぶ、地域を学ぶ」をモットーに、地域に根ざした教育を推進し、地域を愛する児童を育てる。
- ・校庭の人工芝や屋上天然芝を活用した体育学習の充実と課外スポーツを実施し、積極的に体を動かし、スポーツを楽しむ児童を育てる。
- ・船橋市での稲作体験や校地での米作り活動などを通し、自然との共生のあり方を学ぶ。

## 6、その他

保護者、地域が学校のオーナーの意識をもちながら、教育活動を積極的に公開し、学校から情報発信（学校だより、学年だより、保護者会、日常の連絡、ホームページ等）して保護者、地域の期待に応える。

来年度の国際学級開設を目指しての準備期間として、英語版での学校便りなどを発信すると共に、教科指導での教材や資料を作成する。

### 予算編成の基本方針

- ・児童の教育活動、日常の授業になくてはならないものを最優先にする。
- ・児童の安全管理上必要なもの、近隣に迷惑や影響を与えてしまうものについては優先的に編成する。
- ・例年計画的購入している物品もその是非を見直していく。
- ・重点教科、重点項目については配分を大きくし、予算のめりはりを付けていく。但し、一教科・領域に極端に偏ることは避ける。
- ・備品についても学校経営方針に則り、年度当初から計画的に購入していく。
- ・私費会計の服務事故が多発している。複数人による管理等、常日頃から事故防止対策を入念に行う。

教職員は全体の奉仕者としての自覚に立ち、自ら服務に厳正な職場環境を維持する。